

研究種目：若手研究（B）
研究期間：2007～2010
課題番号：19730017
研究課題名（和文） 憲法解釈学における国家理論の役割とその変容 ドイツ憲法学史を題材に
研究課題名（英文） The roll of the “Staatstheorie” (theory of the state) for the interpretation of the constitutional law
研究代表者
林 知更（HAYASHI Tomonobu）
東京大学・大学院総合文化研究科・准教授
研究者番号：30292816

研究分野：公法学
科研費の分科・細目：
キーワード：憲法、国家、ドイツ

1. 研究計画の概要

本研究は、憲法学の課題と方法に関する基礎理論的な研究として、とりわけ憲法解釈論に対して国家理論が果たしてきた役割とその今後の可能性についての検討を、19世紀から現在に至るドイツ憲法学史を主たる研究対象としながら行うものである。特に、19世紀の一般国家学が果たした役割とその衰退の持つ意味、ワイマール共和国の反実証主義的な新しい憲法理論の意義と位置づけ、戦後西ドイツにおける憲法論のあり方の変化という三点に焦点を当てて検討を進める。これによって、日本における憲法論の体系の再検討を進める上でも、有益な示唆が期待される。

2. 研究の進捗状況

これまでの3年間に、様々な機会を通して、段階的に研究成果を公表してきた。これは、内容的には大きく三つに分けられる。

第一は、憲法解釈と憲法理論・国家理論との関係について、主として方法論的・理論的な視覚から論じた、総論的性格の強い業績である。2008年度に執筆した「憲法と立憲主義」（後掲の研究成果・図書 所収）は、その時点での筆者の見通しを大きく試論的に描き出すべく試みたもので、本研究の中心に位置する仕事となった。この他、2009年度に執筆した「政治過程における自由と公共」（図書

）では、民主政理解の問題を中心に、憲法理論の現代的変容の意義を分析した。

第二は、ドイツ憲法学史自体に関わる業績である。戦後憲法学の中心的人物のひとりである Böckenförde の憲法学の意義を検討した論文（雑誌論文）や、現代の EU 憲法論に関する分析（学会発表）がこれに当たる。

第三は、本研究の問題意識を憲法学上の具体的な論点に適用した業績である。その中心を成すのは、議会に関する諸問題に関わるものである。「立憲主義と議会」（図書 所収）が代表的であるが、この他にもいくつかの雑誌論文を執筆した。また、人権論の領域では、「法人の人権」に関する論文を執筆したが、ここにも本研究の問題意識と成果が反映されている。

以上の研究を通して、これまでに、憲法解釈をめぐる問題状況の変化と憲法理論の変化（とりわけその国家理論からの離脱傾向）との間の相互規定的関係について、かなり具体的なイメージが浮かび上がってきたものと評価している。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している

(理由)

当初の研究目的に関して、順調に業績を公表することができている。また本研究の開始時には視野に入っていなかった、ドイツ憲法学とフランス憲法学との比較という切り口や、EU の諸問題の重要性など、新しい問題意識を獲得することもできて、研究の幅も広がりを見せている。

4. 今後の研究の推進方策

今まで順調に研究が進展しているため、今後も基本的にこれまでと同様のやり方を継続する。ただ、本来は問題関心の中心を占めているワイマル共和国の憲法学(およびこれと対比されるビスマルク帝国の憲法学)について、やはり研究対象としての難しさもあり、研究自体は進展しているものの、成果を公表するには至っていない。最終年度は、この点にできるだけ力を注ぐようにする方針である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 5 件)

林知更「国家学の最後の光芒? ベッケンフェルデ憲法学に関する試論」法律時報 2009 年 5 月号 123 -134 頁、2009 年、査読無し

[学会発表](計 1 件)

林知更「日本憲法学は EU 憲法論から何を学べるか」比較法学会第 72 回総会、2009 年 6 月 7 日、神奈川大学

[図書](計 3 件)

阪口正二郎(編)『自由への問い 3・公共性』岩波書店、2010 年(林知更「政治過程における自由と公共」135 -156 頁を掲載)

林知更、安西文雄、青井未帆、浅野博宣、岩切紀史、木村草太、小島慎司、斎藤愛、佐々木弘道、宍戸常寿、巻美矢紀、南野森『憲法学の現代的論点〔第 2 版〕』有斐閣、2009 年(林知更「憲法と立憲主義」55 -81 頁、林知更「立憲主義と議会」115 -147 頁を掲載。いずれも第 2 版で新しく書き下ろしたもの。)

西原博史(編)『岩波講座憲法 2 人権論の新展開』岩波書店、2007 年(林知更「憲法秩序における団体」227 -260 頁を掲載)

[産業財産権]

出願状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]